(1) 貸付申請	貸付を受けようとする者は、配偶者のいない男子又は女子に該当する事実及び児童を扶養する事実を証する書類ならびに申請する資金に対するそれぞれの書類を貸付申請書に添付のうえ、大津市子ども未来部子育て支援給付課に申請する。
(2) 貸付決定	市は、申請書の内容を審査のうえ貸付決定ならびに貸付不承認の決定を行う。
(3) 貸付の停止	修学資金、技能習得資金、修業資金、生活資金については、借主としての資格がなくなった場合、借主やその児童(子)が修学をやめた場合は貸付を停止する。
(4) 連帯保証人及び連帯債務を負担する借主	連帯保証人は市内に引き続き1年以上居住していて、定められた所得のある者で、貸付を受けた者と連帯債務を負担する。修学資金、修業資金、就職支度資金及び就学支度資金については、その父又は母と子が借主となる。
(5) 一時償還	貸付を受けた者が貸付金の目的外に使用したとき、または償還金の支払いを怠ったときは全部または一部につき一時償還を請求する。
(6) 償還金の支払猶予	貸付を受けた者が災害、盗難、疾病、その他のやむを得ない理由により償還期日までに支払うことが著しく困難な場合(ただし、連帯借主がある場合は除かれる。)、修学資金または就学支度資金については、その償還期日において、高校、大学等に修学している場合は支払猶予ができる。
(7) 違約金	支払期日までに納入されなかった場合、延滞元利金額につき3.0%の違約金が課せられる。(支払期日から支払当日までの日数により計算)

別表1 令和7年度 修学資金貸付限度額(月額)一覧表

(単位:円)

学校種別		学年別	1年	2年	3年	4年	5年
高等学校 専修学校 (高等課程)	国公立	自宅通学の時	27,000	27,000	27,000		
		自宅外通学の時	34,500	34,500	34,500		
	私立	自宅通学の時	45,000	45,000	45,000		
		自宅外通学の時	52,500	52,500	52,500		
高等専門学校	国公立	自宅通学の時	31,500	31,500	31,500	67,500	67,500
		自宅外通学の時	33,750	33,750	33,750	76,500	76,500
	私立	自宅通学の時	48,000	48,000	48,000	98,500	98,500
		自宅外通学の時	52,500	52,500	52,500	115,000	115,000
専修学校 (専門課程)	国公立	自宅通学の時	67,500	67,500			
		自宅外通学の時	78,000	78,000			
	私立	自宅通学の時	89,000	89,000			
		自宅外通学の時	126,500	126,500			
短期大学	国公立	自宅通学の時	67,500	67,500			
		自宅外通学の時	96,500	96,500			
	私立	自宅通学の時	93,500	93,500			
		自宅外通学の時	131,000	131,000			
大学	国公立	自宅通学のとき	71,000	71,000	71,000	71,000	
		自宅外通学のとき	108,500	108,500	108,500	108,500	
	私立	自宅通学のとき	108,500	108,500	108,500	108,500	
		自宅外通学のとき	146,000	146,000	146,000	146,000	
大学院	修士課程	132,000	132,000				
	博士課程	183,000	183,000	183,000			
専修学校 (一般課程)		54,000	54,000				

*修学資金の場合、所得制限があります。

別表2 令和7年度 就学支度資金限度額一覧表

(単位:円)

学校種別			
小学校		64,300	
中学校		81,000	
高等学校 専修学校 (高等課程)	国公立	自宅通学の時	150,000
		自宅外通学の時	160,000
	私立	自宅通学の時	410,000
		自宅外通学の時	420,000
大短期大学 専修学校 (専門課程)	国公立	自宅通学の時	410,000
		自宅外通学の時	430,000
	私立	自宅通学の時	580,000
		自宅外通学の時	590,000
高等専門学校	国公立	自宅通学の時	410,000
		自宅外通学の時	430,000
	私立	自宅通学の時	580,000
		自宅外通学の時	590,000
大学院	国公立	430,000	
	私立	590,000	
専修学校 (一般課程)		自宅通学の時	150,000
		自宅外通学の時	160,000
修業施設 (高卒者)		自宅通所の時	272,000
		自宅外通所の時	282,000
修業施設 (中卒者)		自宅通所の時	150,000
		自宅外通所の時	160,000

*小学校、中学校の場合は、所得制限があります。
*原則として、貸付を受ける年度の1月中に申請をする必要があります。

*貸付金の申請は原則として事前申請となります。

*貸付金の支払(継続資金の場合は1回目の支払)は原則として申請を受け付けた月の翌々月の末日となりますので、日数の余裕を持ってご相談下さい。